





審査結果報告書

2024年 1月 24日

主査	氏名	福田 倫也	
副査	氏名	東條 美奈子	
副査	氏名	堀田 一樹	
副査	氏名	天野 暁	

1. 申請者氏名 : DM21029 吉越 駿

2. 論文テーマ :

Associations between dynapenia, cardiovascular hospitalizations, and all-cause mortality among patients on haemodialysis
(血液透析患者におけるダイナペニアと心血管入院および総死亡リスクとの関連)

3. 論文審査結果 :

血液透析患者において、低筋力（ダイナペニア）は心血管疾患発症リスクや死亡リスクの増加と強く関連することが知られているが、先行研究では、ダイナペニアを上肢筋力、下肢筋力どちらか一種類の筋力値で定義していた。しかし、上肢筋力と下肢筋力の相関は低く、筋力が低下する経過や低下率も異なることから、どちらか一方のみの評価では患者のダイナペニアが長期予後に及ぼす影響を包括的に捉えていない可能性がある。

本学位論文は、血液透析患者のダイナペニアを上肢筋力と下肢筋力の2種類から評価し、それらと観察期間中の再発も含む心血管疾患発症イベントと総死亡の複合イベント（心血管疾患イベント）発生率ならびに総死亡率の関連を検討した。その結果、上肢筋力、下肢筋力どちらか一方の低下は心血管疾患イベントや総死亡リスクの増加と関連していること、加えて、上肢筋力、下肢筋力のどちらも低下している患者は両イベントリスクがさらに高くなることが明らかになった。血液透析患者の上肢および下肢筋力の両方に着目し、評価／管理することが、この集団における長期予後改善のための疾患管理戦略の一助となると考察していることは、臨床的に極めて意義深い。

以上より、博士（医学）の学位取得に相応しいと判断した。